

JSTとNEDOの連携について

令和2年11月12日

経済産業省 産業技術環境局

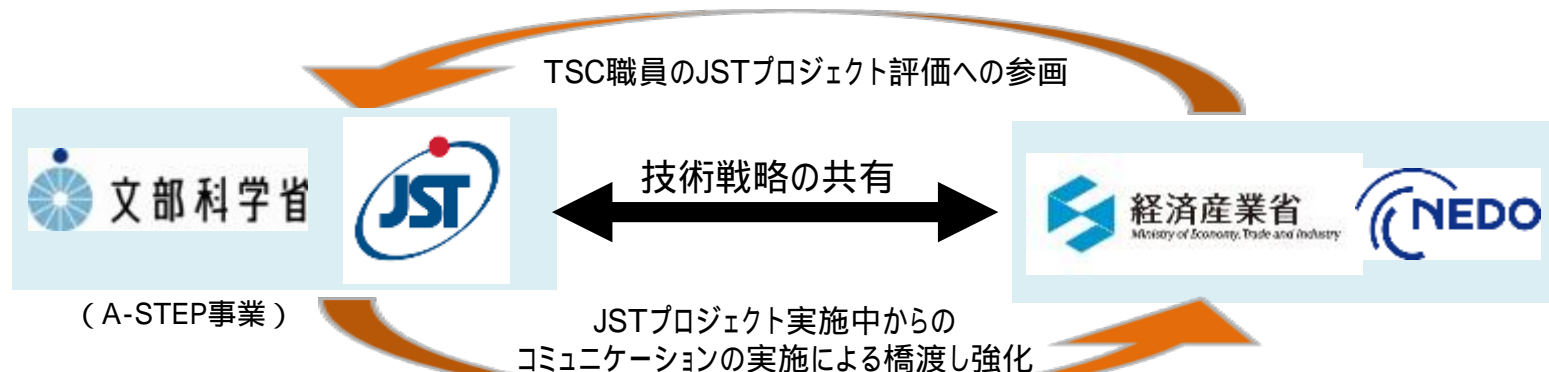
JST事業とNEDOプロジェクトとの協力のあり方

文部科学省 科学技術・学術政策局
経済産業省 産業技術環境局

- 1 JSTが支援した有望な技術シーズが、NEDOプロジェクトの構想段階にシームレスにつながることにより、実用化・社会実装に向けた橋渡し機能をより一層発現すべく、積極的に取り組んで参りたい。
- 1 具体的には、JSTとNEDOのコミュニケーション強化（JST及びTSCによる橋渡し強化）、JSTがシーズをNEDOに紹介する仕組みの構築、大学等が保有する技術シーズと企業のマッチングへの協力を進めて参りたい。

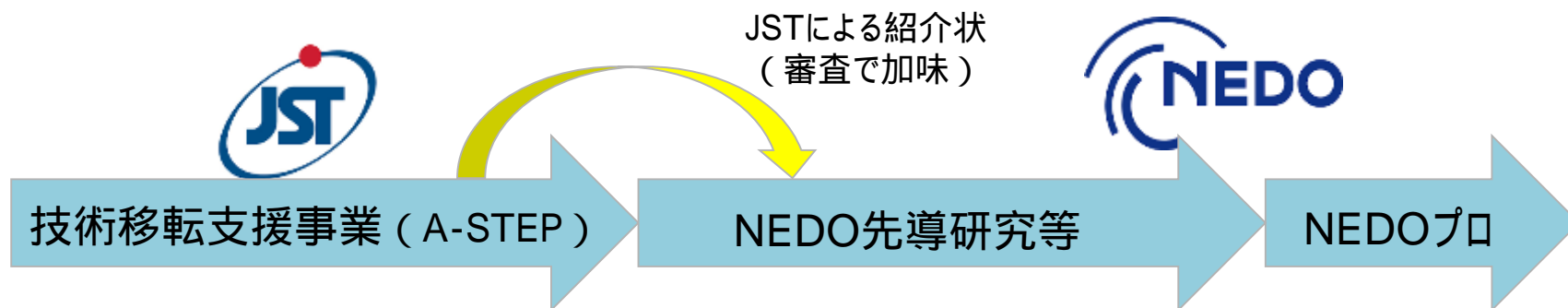
JSTとNEDOのコミュニケーション強化（JST及びTSCによる橋渡し強化）

- 1 NEDOプロジェクト組成においては戦略策定や先導研究が要件であり、早い段階からプロジェクトの骨格の策定作業を始めている。従って、JSTの成果をNEDOプロジェクト組成に活かす場合、**JSTの研究開発プロジェクトが終了する前からNEDOとのコミュニケーションを図っていく**ことが重要。
- 1 このため、JSTから推薦・要請のあったプロジェクトの評価に、**国内外の革新的技術の探索にも注力しているTSCの職員が参加**し、早い段階から、JSTプロジェクトにおける成果が、実用化に向け、どのように活用が可能か、更なる技術開発の必要性、政策ニーズとの整合性などの視点で成果の検証を実施し、**TSCにおける技術戦略策定や経済産業省へのエビデンス提供活動への反映を図る**。



JSTがシーズをNEDOに紹介する仕組みの構築

- 1 NEDOの「先導研究プログラム」における公募において、事業者からのJSTからの紹介状（JST事業の事後評価結果を想定）が提出された場合は、提案書類の一部として扱い、審査（外部有識者による審査あり）の際に加味する。



A-STEP、START等のJST事業により創出された大学発ベンチャーに対して、研究開発ではNEDO等、海外展開支援ではJETRO等のスタートアップ支援9機関の連携協定（通称「Plus “Platform for unified support for startups”」）に基づき支援を行う。

大学等が保有する技術シーズと企業のマッチングへの協力

- 1 JSTとNEDO間で情報共有を円滑に行うための総合窓口を設置し、JSTの研究シーズ情報とNEDOの企業情報等のうち必要な情報の共有を進める。
- 1 JSTでは大学の保有技術と企業等とのマッチング（新技術説明会）を実施している。本説明会に大学等との連携に関心ある企業等をNEDOから推薦し、シーズを紹介することで、マッチング実現に向けた協力を行う。

（今後の予定）

- 1 上記の協力案を具体的に進めるため、経済産業省、文科省、NEDO、JSTの実務者会合を定期的で開催し、来年度当初からの～の仕組みの開始を目指す。（できるものから順次開始。）
- 1 さらに、の協力と並行して、JST事業とNEDOプロジェクトにおいて相互理解を図った上で、更なる連携・協力強化のための課題の整理・対応の検討を行う。